

Press Release

2005年2月14日

大日本インキ化学工業株式会社

ヒートセットオフ輪プロセスインキ 「ウェブワールド・ニューアドバン」の上市について

大日本インキ化学工業株式会社（本社：東京都中央区、社長：小江紘司）は、印刷インキの次世代主力製品として、ヒートセットオフセット輪転（オフ輪）印刷用プロセスインキの新製品「ウェブワールド・ニューアドバン」（Web World New ADVAN）を開発し、2月15日より販売を開始します。

巻き取り紙を使用して高速で大量の印刷物を生産するオフ輪印刷は、チラシやカタログなどの商業印刷物、書籍や雑誌などの出版印刷物に使われます。近年では、印刷品質の向上に加え、フリーペーパーやフリーマガジンなどの新たな需要が拡大してきたこともあり、オフ輪印刷がオフセット印刷全体の4分の3を占めるまでになっています。

このような状況の中、当社は2002年10月、デジタル化の進展した印刷環境において、“安定性”と“環境対応”を追求した新タイプのオフ輪インキとして「ウェブワールド・アドバン」を開発しました。同インキは印刷工程全体で10%程度の生産性向上が実現することから、発売以来好評を集めており、これまで2ケタもの高い成長を続けています。

このたび開発した「ニューアドバン」は、「アドバン」で築き上げた次世代オフ輪インキとしての地位をさらに確固たるものとするため、一般に印刷インキで3～5年と言われる製品サイクルにもかかわらず、当社の飽くなき技術の探究により「アドバン」上市からわずか2年強で完成した意欲的な新製品です。オフ輪インキに要求される特性を当社独自の新技術によって付与し、さらなる生産性の向上と、多様なニーズに対応できる適用範囲の拡大を追求しています。

「ニューアドバン」では、新技術 W-CLS（Web Cross Linking Structure）メソッドを開発し、インキ中の水可溶性成分の印刷機上での溶出を抑えることに成功しました。これは、当社100%植物油型枚葉インキ「ナチュラルス100」で開発した、インキの皮膜に瞬時に高密度樹脂層を形成する技術 CLS（Cross Linking Structure）メソッドをオフ輪インキ用に進化させたキーテクノロジーとなるものです。これにより、これまで水可溶性成分が原因で引き起こされていた種々のトラブルが減少し、印刷の安定性、オペレーターの作業性が大幅に向上しました。また、高精細印刷、FMスクリーン印刷での使用や、古紙再生紙、軽量微塗工紙、ザラ紙など多岐の用紙への高品質な印刷も可能となりました。さらに、環境対応については、エコマークやソイシールの認定取得など、製品そのものの性状による対応だけでなく、印刷現場での損紙の削減や洗浄溶剤使用量の低減など、印刷工程全般での環境負荷を大幅に削減しています。

当社は、この顧客メリットを徹底追求した「ニューアドバン」を、この分野での最高級グレードと位置づけ、製品ブランドの確立を目指します。「ニューアドバン」の発売を機に、新たな需要の創出を推進することにより一層のシェアアップをはかり、初年度に180億円の売上を見込んでいます。

以上

本件に関するお問い合わせ 広報・IR部 TEL 03-5203-7838